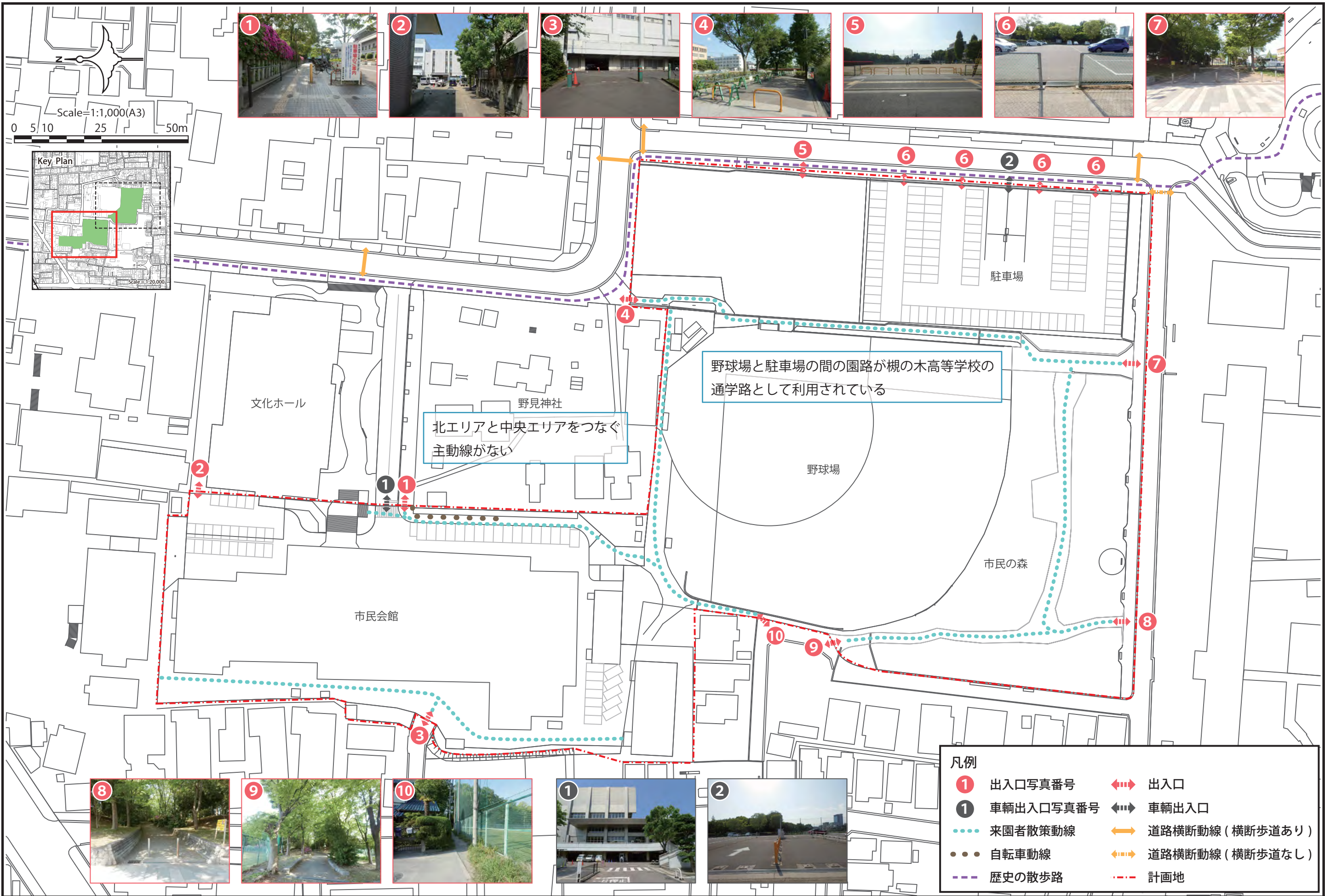


3-3. 敷地分析

(1) 敷地分析

計画地の現況把握を踏まえて、以下の3つの敷地分析を行いました。

- 動線把握
：計画地の現況の出入口や動線を確認する。
- 景観構成
：計画地内の景観や、計画地から見た周辺の景観の特徴を確認する。
- 課題把握
：計画地の現況の課題を確認する。



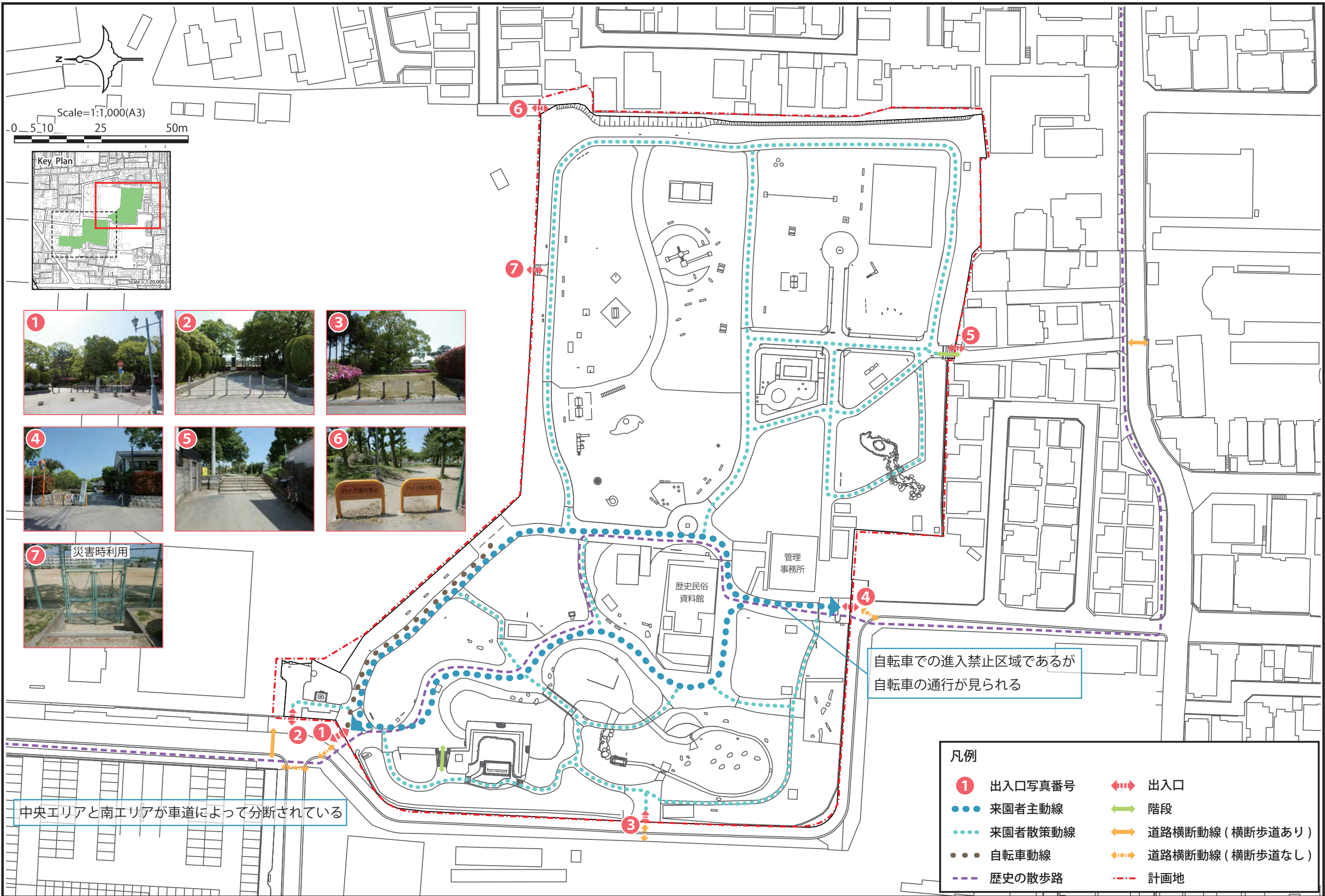
野球場と駐車場の間の園路が槻の木高等学校の通学路として利用されている

北エリアと中央エリアをつなぐ
主動線がない

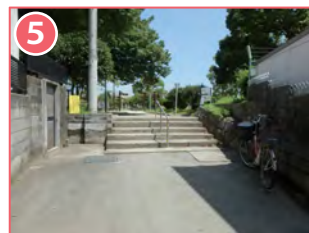
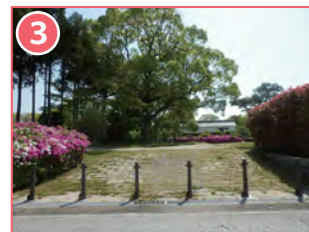
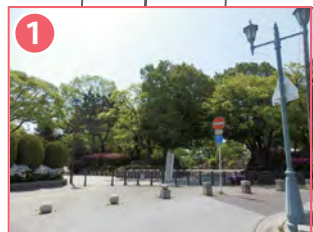
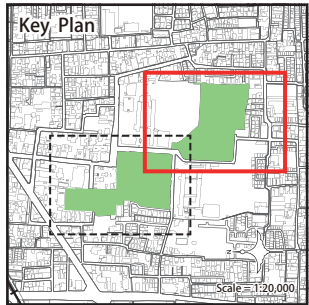
凡例

① 出入口写真番号	↔ 出入口
① 車輛出入口写真番号	↔ 車輛出入口
●●● 来園者散策動線	↔ 道路横断動線 (横断歩道あり)
●●● 自転車動線	↔ 道路横断動線 (横断歩道なし)
- - - 歴史の散歩路	--- 計画地

動線把握図 (北・中央エリア)



Scale=1:1,000(A3)
0 5 10 25 50m

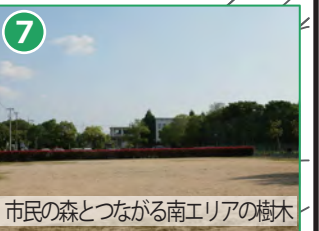


中央エリアと南エリアが車道によって分断されている

自転車での進入禁止区域であるが自転車の通行が見られる

凡例	
① 出入口写真番号	◀▶ 出入口
●●● 来園者主動線	↕ 階段
⋯⋯ 来園者散策動線	↔ 道路横断動線 (横断歩道あり)
●●● 自転車動線	↔ 道路横断動線 (横断歩道なし)
- - - 歴史の散歩路	- - - 計画地

動線把握図 (南エリア)



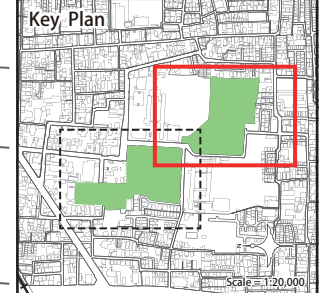
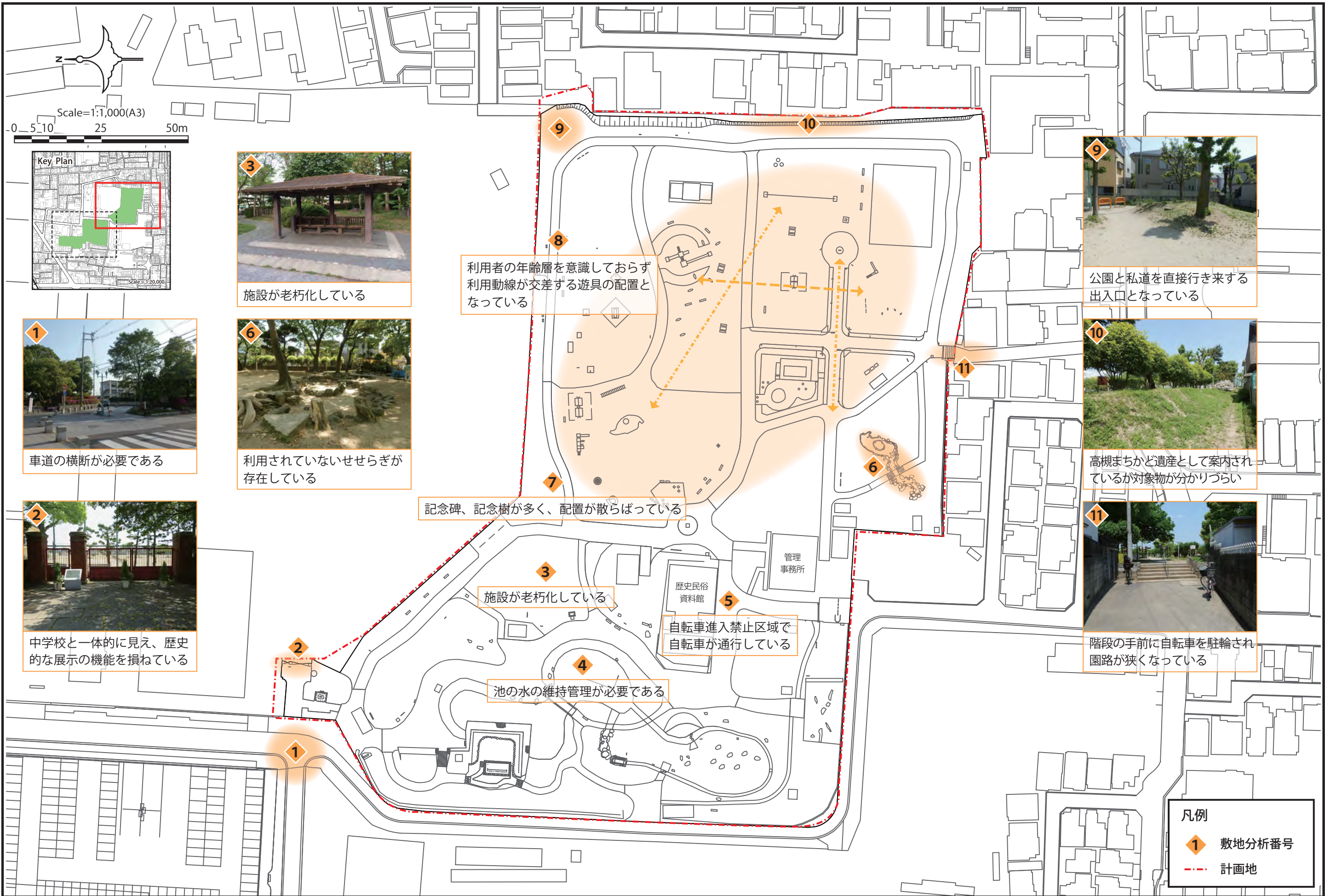
景観構成図（北・中央エリア）



景観構成図（南エリア）



課題把握図(北・中央エリア)



Scale=1:1,000(A3)
0 5 10 25 50m



1 車道の横断が必要である



2 中学校と一体的に見え、歴史的な展示の機能を損ねている



3 施設が老朽化している



6 利用されていないせせらぎが存在している

利用者の年齢層を意識しておらず
利用動線が交差する遊具の配置と
なっている

記念碑、記念樹が多く、配置が散らばっている

3 施設が老朽化している

5 歴史民俗資料館
自転車進入禁止区域で
自転車が通行している

4 池の水の維持管理が必要である



9 公園と私道を直接行き来する
出入口となっている



10 高槻まちかど遺産として案内され
ているが対象物が分かりづらい



11 階段の手前に自転車を駐輪され
園路が狭くなっている

凡例
1 敷地分析番号
--- 計画地

(2) 再整備に係る課題のまとめ

これまでに挙げた敷地分析により、再整備に係る課題を整理します。ここに挙げた課題については、解決に向けた検討を基本計画で行います。

<再整備に係る課題>

○ つながりが途切れている

各エリアをつなぐ主動線がなく、中央エリアと南エリアは車道によって分断されています。また、市民の森や南エリアなどの緑のつながりが北エリアでは途切れています。

○ 歴史に関する情報が分かりづらい

高槻まちかど遺産など歴史資源の案内はあるものの、対象物が分かりづらいことなどから十分に案内されているとは言えず、また高槻城とは時代の異なる工兵隊施設や、野球場、交通遊園など、城跡をイメージしづらいものも存在しています。

○ 文化施設と公園の連携が不足している

現在は異なる敷地となっている市民会館と城跡公園は、十分な連携がとれている状況にありません。再整備後は城跡公園の施設として、相互の一体利用が望まれます。

○ 利用機能が低下している

使用されていない施設(せせらぎなど)や、利用動線が交差した遊具、煩雑な配置となったモニュメントなどにより、公園としての利用機能が低下しています。